

交通安全コーナー

の〜んびりいこうや

HOKKAIDO



冬道運転は「時間に余裕を持って」

冬期は、路面凍結などで追突事故やスリップ事故が多発するときです。これらの事故を防止するためには、「時間に余裕をもった行動」が最も重要です。時間に余裕がないと、気持ちがあせり、ついついスピードが出てしまいます。スピードが出ると、ちょっとした操作ミスがスリップにつながり、事故発生の危険性が高まります。



〜冬道を安全に運転するために〜

●スピードダウン！

冬道では夏道よりも制動距離が約3倍伸びますので、スピードを落とす事が重要です。

●危険箇所の把握！

日陰や、橋の上、トンネル出入口、は日中でも凍結している事があります。ブラックアイスバーンは路面が濡れているのか、凍結しているのか、わかりずらくなっておりますので十分気を付けて運転しましょう。

令和3年 道内の交通事故死者数

◎全国ワースト

1位	神奈川県	142人	2位	大阪府	140人
3位	東京都	133人	4位	千葉県	121人
5位	北海道	120人	(前年比-24人)		
6位	埼玉県	118人	7位	愛知県	117人
8位	兵庫県	114人	8位	福岡県	101人
10位	静岡県	89人	11位	茨城県	80人

◎渡島管内の交通事故

発生件数	599件	(前年比	102件)
死者数	12人	(前年比	1人)
負傷者数	710人	(前年比	126人)

【毎日の備えが、明日へ繋がる】

〜津波の性質を知る〜

■津波とは・・・

地震などによって生じた海底の隆起・沈降に伴い発生した海水の波が、四方八方へ広がり伝わっていく現象です。



- ・沿岸に近づき水深が浅くなるにつれ、急激に高くなります。
- ・津波の伝搬速度は非常に速く、**見ながら逃げるのでは間に合いません。**
- ・周辺の地形により反射や屈折を経て繰り返し襲ってきます。**後から来る津波の方が高くなることもあります。**
- ・津波の力は非常に強く、高さが**50cm程度の津波であっても**立っていられず、流されてしまいます。
- ・津波は「引き」から始まるとは限りません。“潮が引いたら逃げればよい”というのは大きな間違いです。
- ・沿岸の地形の影響などにより、**局所的に高くなる**こともあります。
- ・潮位変化が始まってから最大波が観測されるまで**数時間以上**かかることもあります。

(有料広告)

史上最もシンプルで見守りデバイス

HelloLight™

特許出願済 (特許2016-211600)

見守りサービス あんしんハローライトプラン

〜大切な人をあなたに代わって見守ります〜

サービス全体イメージ

おうちのトイレや廊下などの電球をハローライトに交換するだけで始められる見守りサービス

お手頃な月額料金

初期費用 **0円** **1,078円 (税込)**

詳しくはお近くのヤマト運輸または、ネコサバサービスセンターまでお問い合わせください。
受付時間 9:00~18:00年中無休 0120-545-425